

CONTENTS

【ごあいさつ	03	【環境	
【CSRマネジメント		環境マネジメント	28
小野薬品のCSR経営とは	06	環境マネジメント推進体制	29
小野薬品が取り組む重点領域	07	小野薬品と環境とのかかわり	29
重点領域の特定の方法	08	地球温暖化対策	29
CSR推進体制	08	省エネルギーの取り組み	30
【コーポレート・ガバナンス		温室効果ガス排出削減に 向けたさまざまな取り組み	31
コーポレート・ガバナンス体制	10	廃棄物管理	32
リスクマネジメント	11	大気汚染・水質汚濁	33
当社のBCP(緊急時事業継続計画) 対策本部の体制	11	化学物質	34
IR活動	12	環境効率性/環境会計	34
【革新的な医薬品		【公正な事業慣行	
小野薬品が目指すビジネスモデル	14	企業倫理の推進	38
新薬の開発状況	15	研究・開発における 倫理的配慮の取り組み	39
主要領域の製品	17	贈賄など、不正・腐敗防止に 対する取り組み	40
適正な医薬品情報提供	19	CSR調達	40
製品責任	19	【社会	
【人財・人権		コミュニティへの参画	42
「チャレンジする」& 「自律する」人財の育成	22	寄附講座開設	43
働きやすい職場	23	公益財団法人小野医学研究財団	44
ダイバーシティの推進	25	企業市民活動	44
安全衛生	25	特集:小野医学研究財団25年の歴史	47
人権尊重	26	【第三者保証	49
労働組合との関係	26	【第三者意見	50
社員の構成	26	【会社概要	51
		【ISO26000 対照表	52

編集方針

小野薬品では、CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)に関わる情報開示の一環として「CSR報告書」を発行しています。また、当社を取り巻くステークホルダーの皆さまに、当社グループのCSRの考え方や、「コーポレート・ガバナンス」を基盤としたCSR重点領域(「革新的な医薬品」「人財・人権」「環境」「公正な事業慣行」「社会」)に関する取り組みについてご理解いただき、コミュニケーションを図ることができるよう、さまざまな情報を掲載しています。

報告対象範囲

小野薬品工業株式会社の活動報告を中心に、一部の項目ではグループ全体、あるいはグループ会社の活動についても取り上げて報告しています。

対象期間

2013年4月1日~2014年3月31日(2013年度) ※一部の内容については2014年4月以降の活動も含まれます。

参考ガイドライン

GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ レポーティング ガイドライン 第3.1版」

「ISO26000」

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

発行 2014年10月